

〔都市緑化用植物の利用技術開発〕
ギボウシ園芸品種における観賞性評価

田旗裕也・渋谷圭助・佐藤澄仁^a
(都市環境科)^a 現小笠原亜熱帯農業センター

【要 約】ギボウシ園芸品種‘シーサンダー、ファイヤーアンドアイス、ホワイトクリスマス、ジャネット’の4品種は、無遮光条件でも観賞期間が長く、生育良好であることから、景観形成に優れた都市緑化植物として有望である。

【目 的】

ギボウシは国内産のペレニアルで、なかでも在来系の緑葉種は緑被植物として用いられる。近年、斑入り葉や新規花色を有す品種が相次いで発表され、観賞性に優れた緑化植物として期待度が高い。そこで、都市環境の一要因である遮光条件を交えながら、ギボウシ園芸品種について、定植後の生育・観賞性を評価する。

【方 法】

在来系を対照に、園芸品種‘ゾウズ’等、全19種を供試した。2005年4月5日に、露地圃場の親株から、20×20×20cmのブロック(芽数15以上)で宿根部を株分けし、表層洪積土を客土した圃場に定植した。都市環境要因の一つとして遮光条件に着目し、処理区として、遮光率58%の黒寒冷紗を、植物体の上部にトンネル状に被覆(裾部分南北20cm解放)した遮光区、および無遮光区の2区を設けた。観賞性評価は、判断基準(表1)に基づき、遮光・無遮光の両区について定植後7~10日間隔で2年間、目視観察による評価を行い、評点ごとの積算週数を算出した。また、特性分類基準項目に基づく特性調査を行い、草丈等の生育調査を定植翌年の7月に行った。

【成果の概要】

- 1) 両区の時期別評点推移をもとに、評点0~+1の週数を観賞期間に想定した。在来系の遮光区では、新葉展開完了後の5月17日から、葉やけが確認された7月11日までの8週が観賞期間であった。一方、無遮光区では葉やけが早期に認められ、観賞期間は短かった(図1)。
- 2) 供試全品種について調査2年の平均観賞期間を加味し、特性・生育調査結果と合わせた特性表を作成した(表2)。
- 3) 無遮光区での観賞期間は、‘シーサンダー’をはじめ、14種の園芸品種で在来系より観賞期間が長かった。一方、フォーチュネイ系の‘オーレア、アルボピクタ’の2品種は、無遮光区で観賞期間がほとんどなく、定植当年に枯死した。
- 4) 定植翌年の株張・草丈が、在来系より大きい品種は、‘シーサンダー’等7品種であった。
- 5) 以上の結果、‘シーサンダー、ファイヤーアンドアイス、ホワイトクリスマス、ジャネット’の4品種は、在来系と比べ、無遮光条件の植栽でも、長期間高い観賞性が保たれ、生育も良好であり、景観形成に優れた緑化植物として期待される。

表1 観賞性評価の判断方法

評点	判断基準
+1	・品種本来の草姿・葉形が発現し、鮮明な葉色・葉斑、開花・紅葉等、明確な観賞性向上が認められる。
0	・生育健全で、緑被植物として利用可能。
-1	・葉の黄化・脱色、奇形・変形、食害痕、枯れ込み等がある。

注) 植物体の真上、および南側45~60°の仰角から観察。

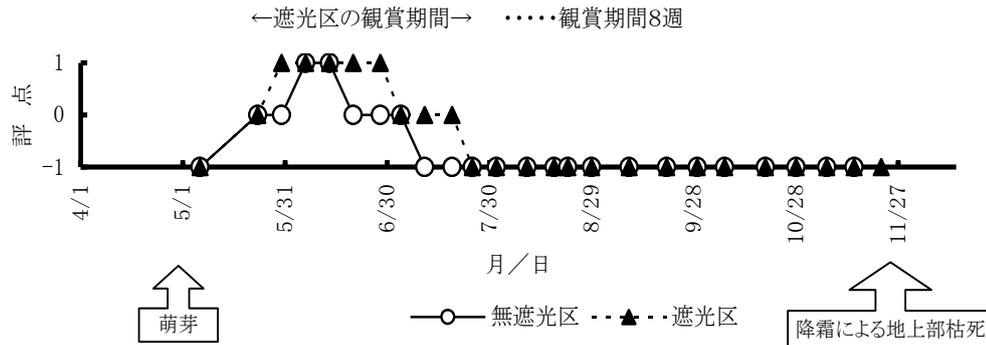


図1 ギボウシ在来系における外観評価の推移 (2005年)

表2 ギボウシ園芸品種の特性

品 種 名	観賞期間(週) ^{*1}		翌年生育 ^{*2} 株張×草丈cm	葉の特徴 ^{*3}		花色 ^{*3}	開花期
	無遮光区/遮光区			成葉表面色	斑のタイプ・色		
シーサンダー	23/25.5		85×45	白	外斑・緑	淡紫ピンク	6下
ファイヤーアンドアイス	21.5/23		90×80	黄白	外斑・緑	淡紫ピンク	7下~8上
ホワイトクリスマス	20/20		105×40	乳白	外斑・緑-濃緑	淡紫	7上~7中
ジャネット	19.5/19.5		100×45	黄	外斑・緑-濃緑	淡紫	9中
シャーモン	16.5/21.5		75×35	黄	外斑・緑	淡紫	7下~8下
サンパワー	16.5/21		120×50	黄	なし	淡紫	7下~8上
オンステージ	15.5/20.5		70×30	黄	外斑・青緑	淡紫	6中~7上
グリーンウェッジ	15.5/14.5		100×50	緑・黄	なし	淡紫	8上
スコッター	15/16.5		70×30	濃緑	外斑・黄緑-白	浅青紫	8中~8下
メイプルリーフ	14.5/19.5		110×45	青緑	外斑・黄	紫白	6中~6下
ブルーカデット	13.5/21		70×30	青緑	なし	淡青紫	6中~6下
ゾウンズ	12.5/20		75×30	黄	なし	紫白	6下~7上
パトリオット	11/16.5		50×20	緑	外斑・白	—	—
ラブパット	9.5/15		40×15	青緑	外斑・青緑	—	—
リバースド	6.5/13.5		30×10	黄	外斑・青緑	—	—
フォーチュネイオーレア	0/11.5		— ^{*4}	黄	外斑・緑	浅青紫	6下
フォーチュネイアルボピクタ	0/8		— ^{*4}	薄緑-黄緑	外斑・緑	—	—
スジギボウシ	20.5/22		85×30	緑	外斑・白	淡紫	6下~7中
在来系	7.5/12		60×40	緑	なし	淡紫	6中~7上

*1: 表1に示した観賞度0~+1の合計週数。数値は2ヶ年の平均値。調査期間 05年4月5日~11月1日 06年3月1日~11月1日。

*2: 2005年4月定植、無遮光区で翌年7月に調査。

*3: 特性審査基準「特性表」・「日本園芸植物標準色票」を参考

*4: 定植後枯死。